## (巻末資料 参考)

# 死亡診断書 (死体検案書)

この死亡診断書(死	1件倾条書	りは、技	か国の外	4因統計作品	夜の資料と	しても用い	られます	で、楷書で	₹, °C	きるた	け詳しく	書いてく7	こさい。			[記人の汪恵]
氏名					1男	生年月[	明治			和	年	月		日	-	- 生年月日が不詳の場合は、推 定年齢をカッコを付して書い
人 石					2女	(生年月)	(生ま	れてから30 生まれた時				F前・午後	爰 時	分	   ]	てください。 夜の12時は「午前0時」、昼 の12時は「午後0時」と書い
死亡したとき	令和	4	¥	月		Ħ	午前	・午後		Į.	寺	分				_ 0712時は「干後の時」と音が
	死亡し	たところ	の種別	1病院 2	診療所 32	介護医療院・	介護老	人保健施設	没 4月	力産所	5老人ホ	ーム 6白:	宅 7そ	の他	•	- 「5老人ホーム」は、養護老人 ホーム、特別養護老人ホー ム、軽費老人ホーム及び有料
死亡したところ	死 亡	1 1- L	~ z								å	番 地				老人ホームをいいます。
及びその種別	W. L. C /2 2 5								番  号						死亡したところの種別で「3介 護医療院・介護老人保健施 設」を選択した場合は、施設	
	(死亡したところの種別1~5)									(			)	<b>-</b>	の名称に続けて、介護医療 院、介護老人保健施設の別を	
	施設	: の 	名	7												カッコ内に書いてください。
死亡の原因		(ア)直	接死因	3						又は多	(発症) そ傷から					傷病名等は、日本語で書いて ください。
◆Ⅰ欄、Ⅱ欄ともに疾患	ī	(イ)(ア	)の原因	3						間 <b>◆</b> 年、	<ul><li>きでの期</li><li>月、目</li></ul>					Ⅰ欄では、各傷病について発 病の型(例:急性)、病因 (例:病原体名)、部位 (例:胃噴門部がん)、性状
● 1 個人 1 個人 5 に状态 の終末期の状態としての 心不全、呼吸不全等は書 かないでください	1	(ウ)(イ	)の原因	3						いてく	単位で書 ください ごし、1					(例:所質[[]前がん)、ほれ (例:病理組織型) 等もでき るだけ書いてください。
◆Ⅰ欄では、最も死亡に		(エ)(ウ	) <i>(</i> ) (E) (E)							日未清	島の場合 等、分等				1 ′	
影響を与えた傷病名を医 学的因果関係の順番で書 いてください		直接には列								てくた	なで書い ごさい 1年				-	妊娠中の死亡の場合は「妊娠 満何週」、また、分娩中の死 亡の場合は「妊娠満何週の分
◆ I 欄の傷病名の記載は 各欄一つにしてください	П	しないが 経過に影響 た傷病名等	欄の傷病 を及ぼし	i							5時					娩中」と書いてください。 産後42日未満の死亡の場合は 「妊娠満何週産後満何日」と 書いてください。
ただし、欄が不足する 場合は(エ)欄に残りを 医学的因果関係の順番で	手術	1無	2有 <	部位及び主	要所見				}	手術	年月日	令和 平成 在 昭和	F 月	日	•	. Ⅰ欄及びⅡ欄に関係した手術
書いてください	解剖	1無	2有	主要所見					}			}		について、術式又はその診断 名と関連のある所見等を書い てください。紹介状や伝聞等 による情報についてもカッコ		
	1 病死及	び自然死			ſ							)				を付して書いてください。
死因の種類	外因死	÷	不慮の	外因死	外因死       2 交通事故 3 転倒・転落 4 溺水 5 煙、火         6 窒息 7 中毒 8 その他				煙、火	災及び火焰による傷害					-	「2交通事故」は、事故発生か らの期間にかかわらず、その
	12 不詳(		その化	也及び不詳の	及び不詳の外因死 { 9 自殺 10 他殺 11 その他及び					不詳の外因						事故による死亡が該当します。 「5煙、火災及び火焰による傷
外因死の	傷害が多 とき	<b>巻生した</b>	令和・	平成・昭和	で成・昭和 年 月 日 午前・午後 時				時	分	傷害が 発生し		-	郭道 存県		害」は、火災による一酸化炭 素中毒、窒息等も含まれま す。
	傷害が多	<b>巻生した</b>	1住居	2丁場及	び建築現	場 3道路	4その	)他 (		)	たとこ			<u> </u>	_	「1住居」とは、住宅、庭等を いい、老人ホーム等の居住施
◆伝聞又は推定 情報の場合でも	ところ <i>0</i> 手段及で	ノ作生方リ	. 1/1									郡	H	町村		設は含まれません。 - 傷害がどういう状況で起こっ
書いてください															] _	たかを具体的に書いてください。
	出生時体	重		グラム	単胎・多	胎の別 1単胎	2多胎	( 子中	⋾第	子)	妊娠週数	)     満	i	调		- 妊娠週数は、最終月経、基礎
生後1年未満で	妊娠・分	か焼時にお	ける母体	の病態又は		¥ 1 //H		生年月日		. ,	前回まで	 での妊娠の		~=		体温、超音波計測等により推 定し、できるだけ正確に書い
病死した場合の							昭和					出生児		人		てください。
追加事項	1無 2有	ī [				] 3不	詳 平成		月	B		死産児 『満22週以行		胎 る)	<b> </b>	・母子健康手帳等を参考に書い てください。
その他特に付言すべき	ことがら	)					·									
上記のとおり診断	<ul><li>(検案)</li></ul>	する						診断(相	余案)	年月日	令和	年	FI I	E E		
			`				本診断書	書(検案書	)発行	年月日	令和	年	月月	Ħ		
病院、診療所、介護者人保健施設等 は医師の住所											番地番		号			
(氏名)		医師	,							印						

#### が 記 欄 0 ち 師 入 す で す 死亡診断書( 死体検案書)

この死亡診断書(死体検案書)は、我が国の死因統計作成の資料としても用いられます。かい書で、できるだけ詳しく書いてください。

		明治 昭和 年 月 日	1	<u>—</u>	生年月日が不詳の場合は、 コを付して書いてください。
	氏 名	1 男 2 女 生年月日	_	}	夜の12時は「午前0時」、昼の 時」と書いてください。
	死亡したとき	令和 年 月 日 午前・午後 時 分			「5老人ホーム」は、養護老人
		死亡したところの種別     1 病院 2 診療所 3 介護医療院・介護老人保健施設 4 助産所 5 老人ホーム 6 自宅 7 その他	•	<u> </u>	養護老人ホーム、軽費老人 料老人ホームをいいます。「 ビス付き高齢者住宅を含みる
(12) (13)	死亡したところ 及びその種別	死亡したところ			死亡したところの種別で「3」 は、施設の名称に続けて、介 護老人保健施設の別をカッジ
		(死亡したところの種別1~5)施 設の名称 ( )	•	<u> </u>	ださい。 傷病名等は、日本語で書い
	死亡の原因	(ア)       直接の死因       発病(発症)又は受傷       から死亡までの期間			I欄では、各傷病について 発病の型(例:急性)、 原因(例:病原体名)、
	◆ I 欄、II 欄ともに疾患の終 末期の状態としての心不全、	(イ) (ア)の原因 ◆年、月、日等の単 位で書いてくださ			部位(例: 胃噴門部がん)、 性状(病理組織型)等もできる
时	呼吸不全等は書かないでく ださい	(ソ) (イ)の原因 い。 ただし、1日未満の		١ /	ださい。 妊娠中の死亡の場合は「妊娠
	◆ I 欄では、最も死亡に影響を与えた傷病名を医学的 因果関係の順番で書いてく	(エ)     場合は、時、分等の単位で書いてくださした。       (ウ)の原因     り。			た、分娩中の死亡の場合は 分娩中」と書いてください。 産後42日未満の死亡の場合
	ださい	直接には死因に関係しないが I 棚の権所経過に影響を及ぼ した傷所名等			週産後満何日目」と書いてく
	<ul><li>▼ I 欄の傷病名の記載は各欄一つにしてください</li></ul>	1. 無 2. 有 手術年月日 令和・平成・昭和 年 月 日 手	<b>]</b> <	, ]	
(14)	ただし、欄が不足する場合 は(エ)欄に残りを医学的因 果関係の順番で書いてくださ	が	4	_	Ⅰ欄及びⅡ欄に関係した手
•	γ)	1. 無 2. 有 実施年月日 令和 年 月 日		_	術式又はその診断名と関連 書いてください。紹介状や伝
		A i i 主要所見			報についてもカッコを付してい。 Ai、解剖についても同様に記
		1. 無 2. 有 実施年月日 令和 年 月 日			AI, MEDIIC DV . COMBRICA
	▶死亡者が女性の場合、右 の「産科的原因」を必ず記載 してください	解			産科的原因とは、妊娠・分娩
	自殺の場合にも必ず記載してください		ر ر	<u></u>	合併症の関与、義務の怠慢 な処置から生じた場合、ある ら存在した疾患または妊娠中 患が妊婦の生理作用によっ を言います。
		因     エ. (ウ)で「1、2、3、4、5」を選択した場合の転帰日(令和 年 月 日)と、死亡時妊娠週数(妊娠 週)       CDR			子どもの死亡に関する特記
		1. 病死及び自然死	_	_	ます。
		「不慮の外因死 ← 2. 交通事故 3. 転倒・転落 4. 溺水 5. 煙、火災及び火焔による傷害			「2交通事故」は、事故発生だかわらず、その事故による死
(15)	死因の種類	外因死	←	-	す。 「5煙、火災及び火焔による による一酸化炭素中毒、窒息
		12. 不詳の死			す。
	外因死の 追加事項	傷害が発生 した時     令和・平成・昭和     年     月     日     午前・午後 時     傷害が発 生したと			
(16)			<b>区</b> 村 ←	<u>-</u>	「1住居」とは、住宅、庭等を ム等の居住施設は含まれま・
	◆伝聞又は推定 情報の場合でも	捜査機関による検視等 1 無 2 有			
	書いてください	手段及び状況	•	_	傷害がどういう状況で起こった に書いてください。
		出生時体     単胎・多胎の別     妊娠週数       重     1 単胎 2 多胎( 子中第 子)     満 週	·	-	LTLC'H YL)고 目 66 디 97 甘고
(17)	生後1年未満で病 死した場合の追加	妊娠・分娩時における母体の病態または異常 母の生年月日 前回までの妊娠の結果	1	>	妊娠週数は、最終月経、基礎計測等により確定し、できるだいてください。
	事項	昭和     出生児 人       1 無 2 有     3 不詳     平成 年 月 日     死産児 胎			母子健康手帳等を参考に書
(18)	その他特に付言すべ きことがら	令和 (妊娠満22週以後に限る)		J	
	上記のとおり 診断				
(19)		本診断書(検案書)発行年月日 令和 年 月 日 選医療院若しくは介護 名称及び所在地又は			
	(氏名)	医師			

この様式案は、研究班における検討の途上にあるものを参考として供覧するものであり、次年度の研究において、さらなる検討を加える予定である。

#### 本研究班提言の 様式案

#### 記入の注意

推定年齢をカッ

の12時は「午後0

、ホーム、特別 ホーム及び有 6自宅」はサー

を選択した場合 ↑護医療院、介 コ内に書いてく

てください。

がけ書いてく

娠満何週」、ま 「妊娠満何週の

合は「妊娠満何 ださい。

術について、 のある所見等を 開等による情 書いてくださ

記入願います。

・産後の産科 または不適切 いは妊娠前か 中に発症した疾 て悪化した場合

### 事項等を記入し

からの期間にか 亡が該当しま

傷害」は、火災 息等も含まれま

ハい、老人ホー せん。

たかを具体的

礎体温、超音波 だけ正確に書

いてください。